

白山市学童野球連盟大会要綱

大会運営細則 白山市学童野球連盟

- 1) 「2018」年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（学童部）に関する事項」を適用し、一部連盟ルールを採用する。
- 2) 監督、コーチはチームと同一のユニフォームを着用し背番号は、選手は0番から99番までとし、監督は30番、コーチは29、28番とし、主将は10番とする。
ジュニア監督は60番を使用してもかまわない。
- 3) ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、代表者又は引率責任者1名の5名迄とし全員帽子着用。監督・コーチ以外はユニフォームを着用しなくてもよい。
- 4) 選手は、試合開始30分前に集合し（第2試合目以降は4回終了後）、監督と主将は、メンバー表4通（本部1通**原本**）、球審1通、相手チーム1通、**自チーム控1通**）を持って大会本部に集まる。試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、棄権とみなします。
- 5) 攻守の決定は（攻守の決定はジャンケンで行う）、その試合の担当球審の立会いの下、執り行う。球審が何らかの都合でいない場合、大会本部がこれの代理をする事ができる。（球審は、時刻に遅れないよう注意する。遅れる場合は大会本部に連絡をする）
- 6) 試合は、7回戦とし勝敗が決定しない場合は特別ルールを1回行いその後は抽選方式を適用する。ただし、決勝戦は次の通りとする

両チームが1日1試合の場合

7回を終了して同点の場合は、8回から延長戦に入り、勝負が決定した回で終了とする。延長回数は最高9回までとし、9回を終了しても同点の場合は10回より特別延長戦を行う。

特別延長は勝敗が決定するまで行う。

但し投手が投げられる回数は規定の通りとする。

1日2試合のチームがある場合

7回を終了して同点の場合は、8回より特別延長戦を行い。勝敗が決定するまで行う。但し投手が投げられる回数は規定の通りとする。

☆ 特別ルール（プレーオフ）

両チームとも無死満塁とし、打順は前回の継続打順とする。

この場合において、走者は当該打順直前の3人を3塁、2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。

投手・野手を交代させても何ら差し支えない。

ただし、一度出場した選手は出られない。

★抽選方式

試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行う。

審判部（又は運営部）は、○印し及び×印しの抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先攻チームより交互に1枚ずつ選ばせる。

- 7) 点差によるコールドゲームは5回7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立する。ただし、★1時間45分を過ぎても5回終了しなかった場合は、5回まで行う。
- 8) 特段の決めが無い限り、一試合の時間制限を1時間45分とし、これを過ぎて次の新しいイニングに入らない。（ただし決勝戦はこの限りではない）
- 9) 第3位決定戦は、行わない。
- 10) ベンチは抽選番号の若い方が1塁側とする。（スコアの記録をする）
- 11) ゲーム中の抗議、選手交代は監督が当事者とする。
- 12) 打者、次打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。又、捕手は（控えの捕手も含めて）ヘルメット・プロテクター・レガース・カップサポーターを着用すること（シートノック、又はブルペンでの投球時も着用する）。しゃがんでボールを受ける場合は、マスクを必ず着用する。
 - ① ブルペンでのキャッチボール、投球練習は各チーム1組に制限する。
 - ② ベンチ前での素振りは、当該打者とネクストバッターのみとする。
 - ③ 監督以外の代表者、コーチ、スコアラーがベンチを出ての指導はできない。
 - ④ 予備のキャッチャーが確保できない場合は代理を認める。ただし事前に申し出ること。
 - ⑤ 小学校が試合会場の場合、ベンチ、応援席の境界ラインをはっきりさせること。
 - ⑥ 会場敷地内は禁煙です、各会場指定された場所にて喫煙すること。
- 13) 試合中のリストバンドを禁止する。ただし、何らかの事情で使用したい場合は、審判・もしくは、大会本部に申し出ること。

手袋は認めるが白もしくは黒を着用する。

14) 抽選会は監督と主将（着帽）の2名で参加すること。

監督が出席できない時は必ず代理者（代表者又はコーチ）をたてること。

代理出席の事前連絡がない場合は棄権とみなす。又、大会提出書類に不備があったり遅刻した場合も同様とする。

出場チームは、学校行事等で不都合がある場合、抽選会1週間前までに事務局に報告しなければならない。

15) 選手宣誓は、大会抽選会時において、予備抽選1番クジを引いたチームとする。

16) チーム紹介などのアナウンスは、各チームで行う。

17) 金属バット（木製も含む）は連盟公認のものであること。

落雷、雷雨等の危険を察知した場合、試合を中断、もしくは様子を見ること。

18) 各試合の選手の変更、及び背番号の変更がある場合、試合前に申し出ること。

19) シートノックは各チーム当日の1試合目前に1回、後攻より5分間とし、当日2試合目からは、これを行わない。

20) グラウンド整備は、当該試合の両チームで行うこと。

21) 投手は、1日7イニングを超えて投球してはならない。1イニングス制を適用する
ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで
投げることができる。（別表1）

22) 役員及び運営委員は、責任を持って大会運営にあたること。

23) 試合中、ベンチ及びベンチに指定された場所にての飲食・喫煙は禁止する。

24) 登録された監督以外の関係者が、公式戦においてチームの指揮をとる場合、指導者登録
用紙に記入されている者が指揮を取る。

この時試合開始前までに担当球審及び相手チームの監督に承認を求めなければならない。

25) 試合中、選手に事故が発生した場合直ちに治療を行うこと。但し、治療時間は試合時間
に含まないこととする。

26) BSOは3塁側、得点板、ボールボーイは1塁側の選手がなるべく行ってください。

審判の給水は3塁側にて行い、試合開始前に何回に行うか球審に確認すること。

（試合上の注意）

- ① 各回の先頭打者、及びランナーはミーティングに参加しないで、直ちに定位置に着くこと。
- ② バット、ヘルメット、ボールなどグラウンド内に置かぬこと。
- ③ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ④ 内野手の転送球は、これを禁止する。
- ⑤ 指導者が学童に対する暴力的行為は許されない。
- ⑥ 大会主旨を十分に理解し、目にあまる行為があった場合は、審判部、運営委員、理事会が協議して、それ相当のペナルティーを課すものとする。
- ⑦ 4回終了時、本部席において先攻後攻を決めるので、時間に遅れないよう両チーム
主将と監督は本部席にメンバー表（フルネームで記入したものを4部）を持って集まる。
（大会運営細則 4）・5）の厳守

（各チームへの注意事項）

- ① 駐車場は各会場のルールに必ず従って下さい。（モラルですから、必ず守ってください）
- ② 試合会場の準備、後片付け等は、指示が無くても積極的に手伝えること。
- ③ 試合中における選手、又は審判員に対する観客からの好ましくない野次、抗議は厳禁します。
- ④ 球場への移動及び試合中（付き添いの幼児）の事故には充分注意してください。
（大会本部で、責任はもてません）
- ⑤ たばこは、所定の場所以外では喫煙しないこと。
（白山市の小学校では、敷地内は禁煙です）
- ⑥ グラウンド周辺での飲酒は厳禁です。（子供達と一緒にあって、応援して下さい）
- ⑦ 選手及びチーム関係者は、「ゴミ」を自宅に持ち帰って下さい。
- ⑧ 試合後、忘れ物の無い様確認して帰宅して下さい。

制定日（公認野球規則の年度変更は改定に含まない）

平成17年 5月 制定	平成27年 3月改定
平成21年 3月 改定	平成27年 6月改定
平成23年 3月 改定	平成29年 3月改定
平成23年 6月 改定	平成30年 3月改定
平成25年 4月 改定	
平成26年 3月 改定	